

科目名	トレーニング実技 1							年度	2025
英語科目名	Training skill 1							学期	前期
学科・学年	スポーツ健康学科 スポーツインストラクターコース 2年次	必/選	選	時間数	30	単位数	1	種別※	実技
担当教員	角	教員の実務経験		有	実務経験の職種		アスレティックトレーナー		
【科目の目的】 トレーニング指導の能力を身につけることで、幅広い層に対しての運動指導が可能になります。 スポーツ・フィットネスの現場で即戦力となる人材育成のためにの様々な現場経験をすることを目的とします。									
【科目の概要】 健康美やスタイル形成など、各自の目的に応じたトレーニングを実践で学びます。									
【到達目標】 対象者のニーズにあった運動プログラムを作成し、基本的なマシントレーニングやフリーウェイトを正しく実施できるようになることを目標とします。									
【授業の注意点】 授業内容に応じて、スポーツウェア、インシューズを準備して下さい。また、熱中症対策として飲料を必ず持参して下さい（状況に応じて休憩時間を設けます）。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができません。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力				
到達目標 A	有酸素運動においてプログラムを作成し、しっかりとトレーニング指導することができる		有酸素運動においてプログラムを作成し、トレーニング指導することができる		有酸素運動のプログラムを作成することができる				
到達目標 B	マシントレーニングにおいてプログラムを作成し、しっかりとトレーニング指導することができる		マシントレーニングにおいてプログラムを作成し、トレーニング指導することができる		マシントレーニングのプログラムを作成することができる				
到達目標 C	トレーニングを安全に楽しく行う基礎技術を身につけている		トレーニングを安全に行う基礎技術を身につけている		トレーニングを安全に行う基礎技術を概ね身につけている				
【教科書】 配布プリント									
【参考資料】									
【成績の評価方法・評価基準】 試験と課題を総合的に評価します。積極的な授業参加度、授業態度によって評価します。									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		トレーニング実技 1			年度	2025	
英語表記		Training skill 1			学期	前期	
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標=修得するスキル	評価方法	自己評価	
1	オリエンテーション	授業内容についての理解とシラバスの確認	1 授業内容を確認する	シラバスを用いて授業内容を確認し、トレーニング実技1の学習概要を理解する	3		
2	運動指導の実際	運動指導に必要なスキルを理解することができる	1 運動指導スキル	運動指導の際に必要なスキルを理解することができる	3		
3	有酸素運動	種類と使い方を理解できる	1 カーディオマシン	トレーニングの種類とその方法を説明することができる	2		
4		安全性とリスク管理を理解できる	1 マシントレーニングにおける安全性とリスク管理	トレーニングにおいてリスク管理を把握し、安全にトレーニングを説明することができる	2		
5		フォームの動作を正確にできる	1 マシントレーニング実技	正しいフォームでトレーニングをすることができる	2		
6		マシン以外の運動	1 マシン以外での実施	マシン以外で有酸素運動を行うことができる	2		
7		プログラム作成をすることができる	1 プログラム作成	授業をふまえてプログラムを構成する事ができる	2		
8		プログラムの指導	1 プログラムの指導	作成したプログラムを基に正しく指導する事ができる	2		
9		マシントレーニング	種類と使い方を理解できる	1 ストレングスマシン	トレーニングの種類とその方法を説明することができる	2	
10			安全性とリスク管理を理解できる	1 マシントレーニングにおける安全性とリスク管理	トレーニングにおいてリスク管理を把握し、安全にトレーニングを説明することができる	2	
11	マシン（上半身）動作の正確性		1 マシン（上半身）トレーニング実技	正しいフォームでトレーニングをすることができる	2		
12	マシン（下半身）動作の正確性		1 マシン（下半身）トレーニング実技	正しいフォームでトレーニングをすることができる	2		
13	プログラム作成をすることができる		1 プログラム作成	授業をふまえてプログラムを構成する事ができる	2		
14	プログラムの指導		1 プログラムの指導	作成したプログラムを基に正しく指導する事ができる	2		
15	まとめ	まとめ	1 振り返り	これまでの授業を振り返ることができる	2		
			2 自己評価	トレーニング実技3についての理解度を自己評価することができる			
			3 目標設定	これまでの振り返りをもとに今後の目標設定ができる			
評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他							
自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった							
備考 等							